

令和2年度 第2回新潟市国民健康保険運営協議会

次 第

日 時 令和3年1月14日（木）

午後1時30分から

場 所 市役所分館 601会議室

1 開 会

2 議 題

- ・ 令和3年度国民健康保険料率の検討について

3 閉 会

令和3年度 国民健康保険料率の検討について

1 国民健康保険事業費納付金の本算定

(1) 令和3年度 本市の納付金額

(単位:千円)

	仮算定	本算定	増減
納付金額	18,742,804	18,385,000	△ 357,804

・仮算定時の納付金額と比べ、本算定における納付金額は約3.6億円減少した。

・国は、仮算定時にコロナの影響を見込めず、一部前年度の数値を使用したため本算定では、コロナ等の状況を踏まえた伸び率で再推計を行っている。本市では、特に年々増加している65歳以上の被保険者に係る公費が大きく増加し、納付金額が下がった。

(2) 納付金額の前年度比較 ※本算定比較

(単位:千円)

	R2年度	R3年度	増減
納付金額	18,957,304	18,385,000	△ 572,304

・令和2年度の納付金額と比べ、約5.7億円減少した。

・65歳以上の被保険者に係る公費の増加に加え、被保険者数や所得の減少等による影響から、納付金額が下がった

2 本算定に基づく国民健康保険事業会計の収支見込み

(1) 令和3年度 収支見込み

(単位:千円)

	仮算定	本算定
歳入	71,762,215	72,615,318
歳出	72,427,265	72,806,350
収支	△ 665,050	△ 191,032

【参考】

R2年度 当初予算
74,896,710
75,131,706
△ 234,996

※令和3年度の被保険者数、所得等を見込み、
現行の保険料率、収納率、賦課限度額から算出した収支見込額

※R2収支不足は基金
取崩対応

・本算定による納付金の変動等から令和3年度の収支を再度見込んだ結果、
約1.9億円の赤字となる見込み

・被保険者数の減少や、コロナの影響等による所得の減少により、
保険料収入が減少すると見込んだが、納付金の減少も大きいため、
収支不足額は令和2年度当初よりも小さくなった。

【参考資料】

(1) 令和3年度 本市の納付金額 【詳細】

(単位:千円)

	医療分	支援分	介護分	合計
納付金額	12,609,064	4,374,116	1,401,820	18,385,000

(2) 令和3年度 収支見込み 【詳細】

(単位:千円)

	医療分	支援分	介護分	合計
歳入	66,806,927	4,466,898	1,341,493	72,615,318
歳出	67,022,678	4,380,058	1,403,614	72,806,350
収支	△ 215,751	86,840	△ 62,121	△ 191,032

(3) 国民健康保険事業財政調整基金の活用試算

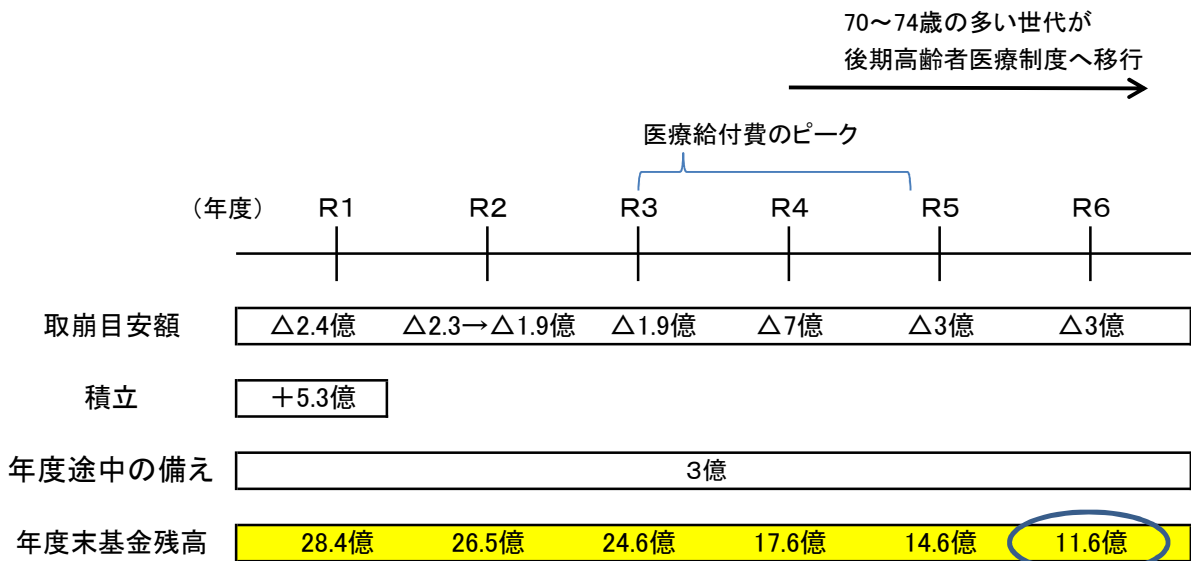
① 保険料負担の年度間の平準化を図る

→ 今後の70歳代の人数や医療給付費の推計から、各年度における基金の取崩目安額を算出

② 年度途中における保険料の収納不足に備える

→ 備えとして3億円を確保する(年度途中で収納率が2%下がった場合に不足する保険料収入)

⇒ 仮に下図のとおり、基金を取り崩す場合、令和6年度末に11.6億円を確保できる見込み。



※取崩目安額は、今後の納付金額の変動や国保の収支状況により変わる。
また、基金積立金(決算剰余金)は考慮しない。